

プロになりたい人と仕事が欲しい人のナビゲーション・マガジン

通訳 翻訳

2009
WINTER

<http://www.tsuhon.jp>

ジャーナル

国際イベントでは通訳&語学スタッフが活躍

東京国際映画祭の 通訳現場

あなたの力を
求めている!

産
業
翻
訳
エ
ー
ジ
エ
ン
ト
求
人
情
報
掲
載

翻訳会社はプロに
いくら支払うのか?

翻訳料の 最新レート



解答例
付き

平成20年度

通訳案内士試験
第一次試験問題
(英語・社会科)掲載

映像メディアの世界へ飛び込め!

映像翻訳のシゴトをしよう

特別レポート 人気ドラマ「HEROES」日本語版ができるまで

翻訳業界関係者が集結

第18回 JTF翻訳祭レポート

去る2008年10月22日にJTF(社団法人日本翻訳連盟)主催の第18回翻訳祭が開催され、翻訳会社や個人の翻訳者など、約400人が参加した。今回の翻訳祭のテーマは「翻訳業界のビジョンを描こう〜クライアント・翻訳会社・翻訳者、それぞれの責任〜」。その模様を紹介しよう。



● ソースクライアントを招いて 翻訳業界のビジョンを探る

社団法人日本翻訳連盟が年に1回開催する翻訳祭も今年で18回目。世界規模で景気後退が進んでいる現在、海外進出をする企業の情報戦略を支える翻訳業界もまた、世界的問題と無縁ではない。その一方で、製品開発、特許、複雑な法的契約、ITシステムの構築など、さまざまな情報がグローバルに流れている現状では、翻訳業界の力を必要とする場面はまだまだ開拓の余地がある。そのためにも、翻訳に関わるクライアント・翻訳会社・翻訳者の3者が互いに信頼しあう必要がある。そこで、今年度の翻訳祭は業界を牽引するビジョンをともに考える場にしたと、「翻訳業界のビジョンを描こう〜クライアント・翻訳会社・翻訳者、それぞれの責任〜」とのテーマが掲げられた。

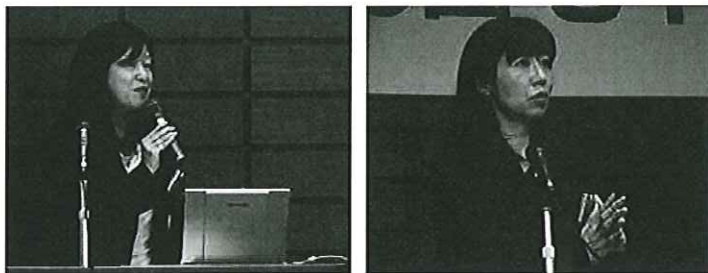
翻訳祭では、講演とパネルディスカッションが開催され、さらに会場では翻訳関連の資料や商品が展示される「翻訳プラザ」も設置された。基調講演の第1部では、サン・マイクロシステムズ(株)の俣野宏子氏が登壇。同社の日本法人は1986年に設立され、以来100カ国以上の国々で、ネットワークを真に活かすハードウェア、ソフトウェア、サービス事業を展開している。講演ではサン・マイクロシステムズの紹介や翻訳の品質管理についての解説、さらに今後の翻訳の方向性などについて発表された。また俣野氏は「外国語和訳、和文外国語訳のニーズは、世界的にみてもとても高い。そして、日本の翻訳者と翻訳会社は完成度が高く、高品質として有名。だが、ひとつの欠点があるとすると、スピードがとて遅い。そこを改善してもらえ」ともっとチャンスが拡大するはず。あとはク

ライアントともしっかりとコミュニケーションを取るようにしてほしい」と述べた。

基調講演の第2部は、「高まるリーガル翻訳者の役割」指名される翻訳者への道」とのテーマで、翻訳会社(株)ジェックスの飯泉恵美子氏が登壇。翻訳を発注するクライアント側のいた経験、その後フリーランス翻訳者としての経験、さらに現在の翻訳会社経営者というそれぞれの立場から、業界への提言がなされた。さらに、専門であるリーガル翻訳の詳細についてもレクチャー。実際に問題となる文章や専門用語を提示して、出席者に翻訳してもらう方法で理解を深めた。

● 価格や効率化に関する クライアントの意見に注目

続いて行われたパネルディスカッションのテーマは、「翻訳業界とクライアントの共生〜真のWin-Win関係を目指して〜」。(株)知財翻訳研究所の浜口宗武氏が進行役を務め、翻訳会社、ソースクライアント、翻訳者、それぞれ2名が議論に参加する形だ。クライアントからは、



■基調講演中の飯泉恵美子氏(左)と俣野宏子氏(右)

★★★第18回JTF翻訳祭プログラム★★★

【開会挨拶】 東 郁男氏 (社団法人日本翻訳連盟 会長)

【講演1】

「IT翻訳の発注側からみた品質管理と翻訳会社への期待」
～求めているのはパートナーです～

俣野 宏子(またの・ひろこ)氏

サン・マイクロシステムズ株式会社

東京ソフトウェア本部 製品開発統括部 情報開発部 主幹部長

【講演2】

「高まるリーガル翻訳者の役割」～指名される翻訳者への道～

飯泉 恵美子(いづみ・えみこ)氏

有限会社ジェックス 代表取締役

【パネルディスカッション】

「翻訳業界とクライアントの共生」～真のWin-Win関係を目指して～

●モデレーター

・浜口宗武(はまぐち・むねたけ)氏

株式会社知財翻訳研究所 代表取締役

●パネリスト

<クライアント>

・並木英之(なみき・ひでゆき)氏

株式会社シマンテック ローカリゼーション ランゲージサービス
シニア マネージャ

・村田尚之(むらた・なおゆき)氏

株式会社東芝 知的財産部 知的財産渉外部 主務

<翻訳会社>

・二宮俊一郎(にのみや・しゅんいちろう)氏

株式会社翻訳センター 取締役経営企画室長

・沼澤昭仁(ぬまさわ・あきひと)氏

株式会社十印 プロダクション本部 本部長

<翻訳者>

・高橋さきの(たかはし・さきの)氏

特許翻訳者

・田中千鶴香(たなか・ちづか)氏

IT技術翻訳者、社団法人日本翻訳連盟 理事



■パネルディスカッション

クライアント、翻訳会社、翻訳者が集まり、Win-Winの関係のための方向性を探った。

(株)シマンテックの並木英之氏と(株)東芝の村田尚之氏、翻訳会社からは、(株)翻訳センターの二宮俊一郎氏と(株)十印の沼澤昭仁氏、翻訳者からは、特許翻訳者の高橋さきの氏とIT技術翻訳者の田中千鶴香氏が登壇した。

テーマを設けずに、参加者から質問を募って、それにパネリストが回答する方法がとられた。会場内で質問を募ると、真つ先に翻訳会社経営者から「お金」に関する質問があがった。その他、個人翻訳者からは、実際の翻訳作業に関する質問などが提示された。翻訳価格や支払といった話になると、参加者も一様に真剣なまなざしでパネリストの言葉に耳を傾ける。クライアントサイドから「発注の際に翻訳料金にはこだわらない、料金は優先順位が低い」との発言があると、それに対して意見が飛び場面もあった。クライアントと翻訳会社がWin・Winの

関係を築くためにどうすべきか、との問いには、それぞれのパネリストが意見を述べた。翻訳会社からは、「価格動向に急激な変化はないとみられるが、プロセスの効率化はますます進むと思われる」との見解が示された。また、翻訳者の田中氏は、「機械翻訳やアウトソースはますます増えるはず。一方で翻訳者が手掛けるきちんとした文章が残る場面もあると思う。翻訳者にはますます柔軟性が必要になる」と述べた。

最後に、ソースクライアントという立場で参加した並木氏と村田氏が「グローバルイズが進む中で翻訳業の未来は明るい。機械翻訳にはないセンスでアピールしてほしい」、「クライアントと翻訳会社が手を組んで、一緒に明るくしていけたら。ソースクライアントとして翻訳会社に求めるだけではなく、逆に要求に応える力も必要と感じた」と締めくくった。



■翻訳プラザ

会場地下で、出展企業による展示・デモコーナー、書籍・翻訳相談コーナーが設置された。

社団法人 日本翻訳連盟

〒104-0032

東京都中央区八丁堀2-8-1

牧野ビル3F

TEL 03-3555-6365

http://www.jtf.jp/